

議会だより



# あまがさ

令和4年  
9月定例会

令和4年10月25日  
第125号

## — 総務文教厚生常任委員会 —



▲防災拠点施設整備事業  
(B&G天城町防災倉庫)



▲天城岳登山道周辺整備事業  
(トイレ整備)



松原登山道の整備状況確認

## — 建設経済産業常任委員会 —



6次産業化施設 1



▲6次産業化施設



▲6次産業化施設 2

### 目次

● 一般質問 .....	P 2
● 委員会意見書を執行部へ申し入れ .....	P14
● 令和4年9月定例会 .....	P15
● 児童会・生徒会代表三二議会／編集後記 .....	P16



吉村 元光  
議員

教育行政について

**問** 児童・生徒の学力の現状と向上への取り組みについて。

子どもは、小中学校時点の学力によっては、その後の高校、大学の進学や社会人になった時の仕事の選択肢に大きな影響があります。町内では、小学校から中学校の高学年になるにつれて、学力が国や県の平均レベルに届かない状況です。また、学力の向上には家庭学習の充実が最も効果的と思われるが、家庭学習を習慣化するには子どもに学ぶことの大切さを理解させる必要があります。親が子どもに関わる世帯の子どもは学力が高い傾向にあります。親は子どもにもスマホ、テレビ等の

時間のメリハリつけることも大事です、そして学校での出来事や将来の夢などを語る時間を持つことで親子の信頼関係が強まり家庭学習の充実・定着に結び付くと考えられます、親・保護者の皆様へ理解を図る広報誌の配布や講演会の実施等の施策実施は考えられないか。

**答** 児童・生徒の学力向上は最重要課題である、教科セミナー・各種検定の実施、各学校においては、授業改善、家庭学習時間の確保、小中連携の充実等を確実に実施する。

また、児童・生徒の学力向上には、家庭学習時間の確保が最も重要であることから学校、地域、家庭の連携と効果的な施策を実践する。

**問** 育英奨学金のクラウドファンディングによる募金は出来ないか。

天城町には「天城町育英奨学資金」と「上原勇一郎奨学

資金」がありますが貸付の原資不足と聞いていますが対策はあるか。また、厳しい財政事情の折からクラウドファンディングによる募金で原資確保は出来ないか。

**答** 「天城町育英奨学資金」につきましては、今回の補正予算で8百万円の基金積み立てを実施し今後の安定貸付に対応していく。提案のクラウドファンディングによる募金は他の地域の実情を把握し前向きに検討していきたい。

自治行政について

**問** 「ユイの心」の醸成について。

「ユイの心」につきましまして、本町の進むべき羅針盤と称する第6次天城町総合振興計画書（あまぎビジョン）で基本理念と定められていることから役場職員、議員、集落役員は「ユイの心」を醸成す

るにあたりこれを牽引する使命があると思いますが、執行部はどのように考えますか。

**答** 町の行事、各集落のコミュニティ活動には多数の町民の皆様の参加、協力が欠かせません、また、このような活動の源は「ユイの心」であります。そして、役場職員は集落コミュニティ活動への参加は必須であるとともに、今後は地域へ飛び出す職員を作っていくたい。

行政運営について

**問** マイナンバーカード普及及びマイナポイントについて。

**答** 町内におけるマイナンバーカードの現在の普及率は37%となっています。マイナンバーカードは、健康保険証としての紐付けや公金受け取り口座（預金通帳）への紐付けを現在行っています。また、マイナンバーカードは申

請時に5千円分、健康保険証としての紐付けや公金受け取り口座（預金通帳）への紐付け時に1万5千円分のポイントの付与が有ります、今後は運転免許証としての活用も図る予定です。マイナンバーカードの申請窓口はくらしと税務課、健康保険証としての紐付けや公金受け取り口座（預金通帳）への紐付けの申請窓口は商工水産観光課です。

**問** ふるさと納税の現況と寄付金増額対策について。

**答** 天城町の令和3年度のふるさと納税による寄附金額は1億1千3百万円に達し、経費を差し引いても5千万円の自由に使える財源（一般財源）確保が出来た。今後も寄付金額の目標を今の倍の2億円にするような活動は出来ないか。

**答** ふるさと納税制度による寄附金の目標は、令和4年度におさまして1億5千万円と

して取り組んでいる所ですがこの目標を達成することによって2億円の目標も見えてくる。



奥 好生  
議員

**農業センターの排水処理と水力発電所前の町道への土石流の因果関係について**

**問** 今後の対策について。

**答** 農業センターの排水処理パイプの修繕を検討したが急傾斜の為、破損した状態となっている。

今後、適正な排水処理方法について専門家による調査を依頼し、検討していきたい。



**農道、農地の整備について**

**問** 農道、農地に対する町民からの要望について。

**答** 可能な限り補助事業等による整備を進めていきたい。要望に応じていけるよう努力していく。

**建設行政について**

**問** 真瀬名橋から南西橋までの川沿いの町道管理と川の土砂の除去について。

**答** この町道「真瀬名線」を確認したが、確かに草が繁茂しています。今後は定期的に除草作業を行っていく。河川の土砂除去については、県に要望していく。

**問** 瀬滝から秋利神川（旧県道）までの町道の管理について。

**答** 通行に支障が生じないよう万全の態勢で管理に努める。



ポケット公園

**平土野地域の活性化について**

**問** ポケット公園の有効活用について。

**答** 以前から駐車スペースを整備するなど要望がある。利用者の利便性を図るための有効活用について検討していく。

**問** 駐車場の整備について。  
**答** 今年度、町単独事業で平土野商店街に駐車場を整備する。

**問** 活性化計画の進捗状況について。

**答** 今年度は、ポケット公園から役場までの歩道のカラー舗装が完了した。

買い物客専用の駐車場整備も進めている。

また、樟南第二高等学校との包括的連携協定に基づき、平土野商店街の活性化について課題研究を行っている。

**奄振輸送コスト支援事業について**

**問** 黒糖を使った2次製品の追加は検討できないか。

**答** 事業の要件と照合したうえで、関係機関（大島支庁、12市町村）と協議していく。

**河川の水質について**

**問** 秋利神川、真瀬名川、湾屋川、港川等の水質検査の実施について。

**答** 秋利神川、湾屋川については、年1回程度調査する。

**各種委員会・協議会・審議会について**

**問** 成果は発揮できているか。

**答** 条例・規則等に基づき運営されており、審議された結果をもとに事業や政策に反映されている。

**職員の兼業について**

**問** 許可基準について。

**答** 公務員の副業について全国では先進的な事例もある中で、情報収集した上で明確な基準等を検討していく。

**行政サービスの改善について**

**問** 慣例だけで業務を行っていないか。

**答** 相手に寄り添った親切・丁寧な対応を心掛けていくこ

とが重要。今後も、町民の信頼を得て、満足度を高められるよう職員の更なる資質向上に努める。

**問** 島外治療旅費助成事業について。

**答** 健康と福祉の増進を図る観点から制度の改善、拡充を検討し、町民の皆さまに寄り添った事業を実施する。

**教育行政について**

**問** 教育大綱、教育振興基本計画の見直しについて。

**答** 教育大綱、教育振興基本計画はともに、これまでを振り返り、見直すべきところは改めていく。



**秋田浩平**  
議員

**農政について**

**問** 農産物生産コスト支援事業について。

**答** 新型コロナウイルス感染症拡大やロシアのウクライナ侵攻などの影響から、穀物や燃油等の高騰、原料価格の上昇などを背景に、肥料・飼料・農業資材などが大幅な値上げとなり、農家への大きな負担増となっております。

そのため、農家の生産コスト軽減を図るため地方創生臨時交付金を活用し、7月に臨時議会で農産物生産コスト支援事業の承認をいただきました。

現在、国が創設した肥料価格高騰対策事業や県が9月補正予算を予定している肥料価

格高騰緊急支援事業と協調し、農家への支援が迅速に行えるよう準備を進めている。

建設行政について

**問** 兼久く当部線について(森間地区)。

**答** 町道兼久当部線につきましては、未取得であった用地の取得については、解決しております。

過去に取得した用地の境界を確定し、工事着工に向けて取り組んでいきます。

6次産業化整備事業について

**問** やつちやえいとまん施設の運用計画について。

**答** 当該施設の運用計画につきましては、本年7月に施設が完成しました。設置及び管理に関する条例の制定については現在準備中です。



6次産業化施設

施設の管理体制、水産加工品の製造、商品開発を行うなど、年度内の稼働を予定しておりますが、当分の間、直営での運用とさせていただきますと思います。

稼働に向けて準備を進めますが、まだまだ足りない機材等がございます。有効的な施設の活用を確立するために、改めて精査し今後議会に提案を行ってまいります。

教育行政について

**問** 各学校施設改修事業について。

**答** 令和2年度に天城町学校施設等長寿命化計画を策定しました。今議会において、1億5千万円の基金積立もお願いするとともに、今後、計画的な施設整備を行う必要があり、第6次天城町総合振興計画及び天城町学校施設長寿命化計画に則り、中長期的な視点から学校施設として求められる機能や役割等を考慮しながら大規模改修、建替等の方向性や優先順位等を設定して、学校施設の整備を進めていく。

**問** 学校給食センター新築工事の進捗状況について。

**答** 現在、建設検討委員会を4回開催し、委員会としての建設候補地の意見を頂きました。教育委員会として、候補地の地権者等の情報収集を行

い、今年内で、地権者の方々の理解を頂くため、業務を進めています。



大吉皓一郎  
議員

創生天城について

**問** 世界自然遺産関連事業で今年度本町の取り組みと国や県予算が計上されて実施されているか。

**答** 7月23日に「世界自然遺産登録1周年記念講演会」を開催した。世界自然遺産学習あまぎ学の副読本を本年度作成する。奄振交付金を活用した「徳之島希少野生動物植物保護事業」で盗掘・盗採パトロールや外来種駆除に取り組みんでいく。三町では、環境省の「地域循環共生圏づくりプラットフォーム構想事業」で

エコツーリズムの推進体制づくりに取り組んでいる。ロードキル対策として松原・轟木線には、防護侵入防止ネット設置、モニタリングカメラを8台設置してある。エコツアーガイドは本町に4名と少ない。当部に観察小屋があるためロードキルが多い。看板を設置し注意を呼びかける。集落内に新年度、防護ネットを配布するのも可能である。

7月28日離島行政懇談会の中でロードキル対策としてカメラの設置・アンダーパスができないかを提案した。

**問 平土野地域の活性化について。**

**答** 令和2年3月に「しま・ひと・たから平土野港再生計画」の中に「平土野集落活性化計画」を盛り込んだ。買い物客専用の駐車場・町営高千穂団地の駐車場用地も予定している。ウォークデッキなど、どのような物がいいか青写真を作り相談するなど、今

の駐車場広場に舞台の小さい物を作るなど平行して考えていきたい。砂浜にビーチバレーができるようにしたい。平土野地区水路調査委託料（6百万円）で290mの調査をする予定。

**問 前里新団地・高千穂公園・港公園改修・遊具の設置（どのような物か）、工事費・完成予定について。**

**答** 地域のつながりや町民の健全な心身を育む場と子供たちの健全な育成を図るため、安全・安心な遊具施設にした。前里新団地の遊具は未就学児用2基・就学児1基を設置し総工事費は1千万円、3月末完成予定。

高千穂公園の遊具は、就学児用の複合遊具を1基計画し、人工芝を張る。総工事費4千5百万で3月完成予定。港公園は就学児用の複合遊具1基計画総工事費1千5百万円で3月完成予定。

**みんなが健康な町について**

**問 島外治療旅費助成金について。**

**答** 島内の医療機関において治療が困難な方の経済的負担の軽減を図ることが目的で開始から2年余りが経過している。がん検診精密対象者数令和元年61名、2年67名、3年70人。至急連絡数元年2名、2年2名、3年1名となっている。健康と福祉の増進を図る観点から制度の改善拡大について見直す。緊急の場合何らかの新しいことを作るか。今の要綱に謳い込めるか検討する。証明書代は、島外に行くときは改善をする。介護人については、医師が紹介状を書くときに判断し支給している。

**建設行政について**

**問 町道前野岡前横断線の進捗状況について。**

**答** 令和元年度からの継続事業として実施している。令和3年度事業として岡前橋改築工事を発注済みであるが、出水期であり工事を中断している。出水期が終わり次第再開する。令和4年度事業では、岡前橋から北側の用地取得を進めている。あと5筆交渉中（道路7mに側溝がつく）。岡前側5年度以降用地測量・交渉をしていく。

**問 令和2年12月議会で県道80号線（伊仙亀津空港線）の件についてその後どのような改良要請を行っているか。**

**答** 徳之島事務所も早く改良したい、危険であると認識している。県の予算の問題。空港と徳之島を横断し徳之島全体に続く道路である。未改良部分が天城にあるので大きな

課題。大島支庁長・建設部長が来町したとき徳之島全体の問題と話をした。これからも議会と執行部一緒にこの問題をしつかり取り組んでいく。

**教育行政について**

**問** 不登校及び長期欠席の児童生徒に対するの対策はどのようなにしているか。

**答** 1学期終了時点で長期欠席の状況として小学生4名、中学生10名でしたが現在小学生4名・中学生7名は通常どおり登校しており中学生3名は、体調不良、その他の理由で欠席が多い。長期欠席児童・生徒には各学校において家庭訪問や専門機関との教育相談などを行う。奄美市、瀬戸内町では、「ふれあい教室」として指導者をおき、学習支援と校外活動・学校以外の「心の居場所」としての活動の場を提供している。各学校にお

いて家庭との繋がりを保ちつつ学びを保障するためにタブレット端末を利用したオンライン授業も実施していく。

**問** 教育委員会の各施設・各種事業は適正に運営されているか。

**答** 8月12日に巡回ラジオ体操みんなの体操会は、かんぼ生命主催のものと実施した。教科セミナーでは、本町出身の県立大島病院の研修医を講師に招き、ワークシヨップや体験談を交えながら児童生徒にエールを送った。「自主的学び学習夏期スクーリングに平成30年から鹿児島市・奄美市の学習塾に14名の中学生を派遣している。教科セミナー受講者であり、もっと多くの生徒がセミナーに参加するように。人づくりは町づくりである。(郡内10万6千円・鹿児島市11万8千円)

「第6回回センター・インストラクター養成研修」を本町

B&G海洋センターで9月22日～10月22日の31日間行われる。全国37自治体から41人が参加し、マリンスポーツの知識や技能などを学ぶ。マリニア・ザ・オキナワで実施していたが施設・整備などが整った本町で開催となった。

海洋センターに4月から女性のプロの水泳指導資格者、6月から男性のスポーツトータルアドバイザーが配置され、スポーツ少年団の水泳教室やプールと事務所の連携や受付窓口の改善や玄関の整理・トレーニング室の配置・花植などいろいろと改善が行われた。幼児の水泳教室も来年企画する。



平岡 寛次  
議員

**新型コロナウイルス対策について**

**問** 自宅療養助成事業の現状について。

**答** 令和4年3月より実施している、「自宅待機者支援品支給事業」です。ご存じのように、8月に入り爆発的な感染拡大が起こり、申請者も増加し9月6日現在で、182世帯の支援を行っている。

支援内容といたしましては、保健所からの自宅待機要請に伴い、買い物が困難な世帯に対し、一日当たり一人2千100円を上限とし、食料品などの日常生活用品を支給するというものです。

町内8店舗の事業所にご協力をいただき実施しているところです。

待機者の皆さんとのやり取りや配達業務等、多大なご協力をいただいております。感謝申し上げます。

また、この事業の予算は、議会の皆様の発動による「新型コロナウイルス感染症対策基金」を原資としております。

### 行財政改革について

**問** 自治体クラウド導入と歳出削減について。

**答** 自治体クラウド導入につきましては、平成31年度に鹿児島県自治体情報処理連絡協議会（構成団体30団体）で住民基本台帳システムなどの基幹システムをクラウド化致しました。

また、構成団体30団体及び京都府8団体と災害時相互協定を結んでおり、災害等によって住民サービスに影響が生じる場合には、協定先の団体でも帳票発行などが行えます。

自治体クラウド導入以前から共同利用による歳出削減は行っておりましたので、歳出費用は大きく変動しておりませんが、運営維持管理、電気代等のコスト軽減に繋がっている。

今後も費用対効果、歳出削減に繋がるシステム構築に努めていく。

### 町政運営について

**問** 特定地域づくり事業協同組合設立について。

**答** 令和2年度から始まった特定地域づくり事業協同組合制度は、地域づくり人材の確保及びその活躍の推進することとで、地域社会の維持や地域経済の活性化を図ることを目的としています。複数の事業者又は個人事業主で共同組合を設立し、通年雇用の創出、担い手の確保で人手不足の解消を図るものです。

これまでも数回、事業者に対する説明会を開催した。引き続き説明会を開催し、多くの事業者にご参加いただき、この「特定地域づくり事業協同組合」を設立させたいと考えている。

**問** あまぎ自然と伝統文化体験館建設について。

**答** あまぎ自然と伝統文化体験館建設につきましては、奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し整備を進めている。

令和3年度繰越事業として、防火水槽設置工事・流末水路工事を終え、現在、造成工事が進んでいるが、造成工事完了検査後、杭工事までを予定している。



昇 健児  
議員

### 観光行政について

**問** 各観光地の整備・管理について。

**答** 各観光地の管理につきましては、シルバー人材センターに委託しておりますが、必要に応じて職員や雇用人員で対応しています。

修繕が必要な箇所については、随時対応しております。今後も、利用者の方々に不快な思いをさせないように、環境整備の強化を図っていく。

**問** 希少動物のロードキル対策について。

**答** 島内でロードキルが最も多かった県道618号（松原轟木線）に昨年、北部地区推進協議会の子ども会や保護者

で看板の作成と防獣ネットの設置を行ったところですが、その効果については、カメラを設置し検証を行っている。

また、離島行政懇談会において、道路管理者である鹿児島県に対し、アンダーパス等の試験設置についての要望を行った。カラー舗装については、関係機関と協議を重ね検討していく。

今後も、環境省や県などと連携しながら対策の強化に努めます。

**問** 移住体験希望者やワーケーションで中长期滞在希望する方々の受入態勢の整備について。

**答** 全国的に移住志向やワーケーション需要が高まる中、本町への移住に関する相談件数も年々増えてきております。〃現地を見た上で移住を決断したい〃という方も増えてきており、移住に係る体験を必須に宿泊代とレ

ンタカー代の50%以内を助成する「お試し移住体験助成事業」を令和2年度から行っている。令和2年度が5件、3年度5件、本年度はこれまでに8件のご家族が利用し、移住コンシェルジュや教育委員会、農業セクターなどで対応している。

また、既存の与名間バンガロー1棟2戸をワーケーション施設として整備しましたが、コロナ禍のなか利用客が少ない状況にある。

今後も、更なる住宅確保の対策や移住者に対する就業支援、ワーケーションのPRなど取り組みを強化していきたいと考えている。

教育行政について

**問** 各保育所や小中学校の危険樹木への対応について。

**答** 保育所につきましては、危険樹木の対策として南部

保育所において、昨年度がジュマルの剪定及び補強を実施した。

北部保育所につきましては、本年度モクマオウの高所部分の剪定を実施する予定している。

今後も、危険樹木の調査及び剪定等を毎年実施することで、園児、保育士等の安全確保に努めていく。

各小中学校の危険樹木につきましては、各学校にて危険樹木の点検を行い、教育委員会へ報告があり、教育委員会にて再度、危険樹木の確認を行った。9月補正予算にも伐採に係る予算を計上し、各校の危険樹木の伐採等を実施していく。また、来年度以降も、定期的に点検を行い、児童・生徒、先生方の安全確保に努めます。

**問** 学校支援スタッフの増員について。

**答** 現在、天城町では学校支援スタッフは導入していませんが、学校職員の業務改善を推進し、担任等が児童・生徒への支援等の時間を確保するためにも、次年度以降、国や県の動向を踏まえながら学校支援スタッフの導入を検討します。

**問** 町内のスポーツ振興について。

**答** 町内のスポーツ振興につきましては、体育協会による町民の体力向上並びにスポーツ精神の涵養及び相互の親睦を図ることを目的としたスポーツ活動、スポーツ少年団による青少年の心身の鍛錬、健全育成やスポーツ推進委員によるファミリースポーツ等の生涯スポーツに力を入れ取り組んでいます。

コロナ禍で各種大会等が中止や延期となっていますが、

ウィズコロナ時代の新しい生活様式のもと、可能な限りできる事を模索・工夫しながらスポーツ振興に取り組んでいきたいと考えています。

また、スポーツ庁では、学校の業務改善を推進するため、令和5年度より、中学校における休日の運動部活動の段階的な地域移行を進めていきます。それを受けて、本町でも関係機関等と連携を図り、準備に取りかかっています。今年の12月をめどに、準備委員会を開催し、運動部活動の地域移行における課題等について協議する予定です。



武田正光  
議員

**本町の町木、町花の選定由来と現況について**

**問** 本年(2022)は戦後77年、我が天城町は町制施行61年目を迎えました。町制施行20年目を迎えた昭和56年8月に記念式典が催されており、このとき町発展を期して天城町民憲章、町木(ソテツ)、町花(ツツジ、タイワンヤマツツジ)が選定されたがその理由は…?そして町花の現状についてどのようにお考えかお尋ねします。

**答** 天城町町制施行20周年の節目として、豊かな自然と祖先の築いた偉大な伝統を受け継ぎ、更に活気に満ちた豊かな住みよい郷土建設のため、町民憲章を定めています。ま



町木「ソテツ」

た、町木と町花の制定につきましては、当時の選定委員会や審議委員会によって協議を重ね、

1、天城町のシンボルとしてふさわしい木や花であること。

1、天城町に自生している木や花であること。

1、古くから町民に親しまれている木や花であること。

1、植物学上分布のうえから保護しなければならぬ木や花であること。



町花「タイワンヤマツツジ」

などの項目を選定基準とし、町民や選定委員会へのアンケートを実施した結果、町木に「ソテツ」、町花に「ツツジ(タイワンヤマツツジ)」が制定されています。また、町花の現状につきましては教育委員会よりお答えいたします。

教育委員会では平成22年度から平成29年度までの期間、「きゅら町」づくりに向けた町花(ツツジ、タイワンヤマツツジ)の育成及び植栽の推進を行い、小出義雄メモリア

ル天城クロスカントリーパークの敷地内2ヶ所にツツジを植栽しました。現状といたしましては、町全体を見渡してもツツジが少なくなり、認識が薄くなってきたと感じております。令和2年度より始めたユイの里天城「花いっぱいフラワーロード」運動には、多くの町民の皆様にご参加いただいています。また、来る10月には区長会を中心に「石積みと花」をテーマにまちづくり事業を展開している長島町への視察研修も計画している。今後、改めて町花であるツツジの育成と植栽の推進にも力を入れ、緑豊かで花いっぱいに住みやすい町づくりの実現に向けて取り組んでいきます。



久田 高志  
議員

高齢者福祉について

**問** 高齢者が安心して暮らせる住宅、シルバーハウジングの建設へ向けた協議等ははされているか。

**答** シルバーハウジングは公営住宅で社会資本整備総合交付金（4割国庫補助）で整備できる住宅です。先に計画策定し住宅長寿命化計画の見直しが必要。町民の福祉の向上が大切ですので、前に進む方法で関係課と協議したい。

建設行政について

**問** あまぎ自然と伝統文化体験館（ドーム闘牛場）整備事業計画、予算等はどのようになっているか、計画再考を含

め検討できないか。また、確実に約11億の建設予算で完工は可能か。

**答** 令和4年度分は現在の計画額でほぼ可能、令和5、6年度分についてはどの位、高騰するか未確定、計画額で発注できるかは断言できない。

**問** 補助額、起債の確約等、財源の確保はできているか、補助残を全額起債した場合、他事業への影響は出ないか。

**答** 奄美群島成長戦略交付金を単年度予算で県へ要望している令和4年度分までは確定、5年度分は申請中。起債については過疎債の活用を計画しているが、事業が大規模な為、他の事業との調整が必要となってくる。

行を少し待てないか。

**答** あまぎ自然と伝統文化体験館事業としては、若い人たちが主体となってイベントの利活用、また行事等を本町に生まれてよかったと実感するような施設を整備していきたい。止めるとか、待つことは考えていない。

**問** いくら掛かるうが進めていくのか。他事業との順番は考慮できないか。資材価格が高い時でも娯楽施設、闘牛場を建設するのか。

**答** 町長としての姿勢として、あまぎ自然と伝統文化体験館については、島の伝統、闘牛含めそういった対応ができる施設を作っていきたい。また後世の方々にも利活用して頂きたいので事業継続を考えている。

**問** 全課長でどうしても今回で事業実施（闘牛場）が必要と考える方拳手願います。

**答** 結果 拳手0名



松山善太郎  
議員

少子化対策について

**問** 移住する方の住宅取得、就業（農等）への支援はできないか。

**答** 近年、山海留学をはじめ本町に移住するご家族が多くなってきたおり、これまでの施策の結果が出てきたものと、大変うれしく思っております。このような中で、住宅の確保が大きな課題となっている。

ご質問の移住する方の住宅取得に対する支援ができないか、については、今後、対象者の要件などをしっかりと見極めつつ検討させていただきたいと考えている。

また、就業・就農支援につきましまして、農業を希望される

方につきましては、農業センターの研修制度で支援できるものと考えておりますが、就業については、町内・町外事業者の求人情報にも注視するなど、移住した方が長く定住できるような支援策を考えていきたい。

**問** 現行制度の拡充は考えていないか。

**答** 少子化対策につきまして、出産祝い金や保育料・給食費の無償化、医療費支援、新入学生支援金など多くの施策を展開し、「子育てしやすいまち」を目指し取り組んでいるところ です。

現行制度の拡充を、このご質問ですが、本町では当初予算編成前に「総事業総点検」により、それぞれの事業についての実績や効果など検証し、事業の廃止、変更、新設を行っている。

本年度も11月の次年度予算編成に向け、現行事業の検証

を行います。この少子化対策につきましても、社会情勢や住民ニーズを的確に把握し、予算に反映させていきたいと考えている。

教育行政について

**問** 奨学資金貸与制度の改正は実施するのか。

**答** 天城町育英奨学資金は平成21年度に高等学校が月額15,000円から20,000円に大学等が月額30,000円から35,000円に増額しています。

今議会において、奨学基金条例の基金額改正及び800万円の増額を提案しています。

現行の運用を基本としながら、今後とも奨学金の充実、安定した財源確保、継続可能な運用方法を検討していく。

政治姿勢について

**問** 職員の人事（給与・昇格等）について今後の方針を聞きたい。

**答** 職員の給与・昇格等につきましては、「天城町職員の給与に関する条例」に基づき適性や経験年数を勘案して決定している。

個々の職員には、困難な課題を解決する能力と、堅実に業務を遂行できる力が求められています。

より高い能力を持った職員を育成し、組織全体の士気を高め、町民に寄り添った行政サービスが常時行えるよう、適正な人事配置に努めていく。

**問** 中央地区の活性化について聞きたい。

**答** 平土野地域の活性化につきましましては、令和2年3月に「しま・ひと・たから 平土野港再生計画」の中に「平土

野集落活性化計画」を盛り込んだところでは、アートプロジェクトについては、商工会青年部が主体となり、高校生や一般の皆様様に壁画を描いて頂きました。また、バスケットリンクの設置による3on3大会や、わっきゃが市場の開催で、平土野商店街が賑やかになりつつある。

本年度は、ポケット公園から役場までの歩道のカラー舗装が完了し、さらに、買い物客専用の駐車場整備も進めています。

また、樟南第二高等学校との包括的連携協定に基づき、平土野商店街の活性化について課題研究を行っています。若い方々のアイデアも取り入れながら、平土野地域の活性化を図っていききたいと考えている。

**問** 新規住宅・あまぎ自然と伝統文化体験館整備（ドーム闘牛場）等建設について基本的な方針を聞きたい。

**答** 新規住宅建設につきましては、この度、令和4年度から令和13年度までの10年間の天城町公営住宅等長寿命化計画を策定しました。

今後とも、長期的な視点に立った公営住宅の建設、民間住宅の有効活用などを図りつつ、住宅行政を推進していく。

あまぎ自然と伝統文化体験館につきましては、島唄や踊り、闘牛などの伝統文化の魅力や徳之島ならではの特産品や農産物などの多岐にわたる観光情報を効果的に発信するとともに、コンサート会場などとして、若い人たちが主役となつてのイベント利用や、スポーツや芸術等の各種イベントを天候に左右されることなく開催できる複合型の施設

として整備します。

また、隣接した総合運動公園や山猪工房、水産業振興拠点施設とも連携し、伝統文化体験・スポーツ・ほか様々な場面で人と人をつなぐ機能を持たせ、異なる価値観が出会う施設を目指していく。

**問** 防災センター未竣工工事に関する交付金返納事件について6月定例会以降の経過を聞きたい。

**答** 防災センター未竣工工事に関する件につきまして、広報あまぎ7月号でこれまでの経緯及び町の対応などを報告しました。

現在、裁判中ですが第2回口頭弁論が6月8日、第3回口頭弁論が8月31日に行われた。

6月定例会以降の経過は以上ですが、本件につきまして真摯に向かい合っていきたいと考えている。

定例会の詳しい内容については、AYTにて当日の生配信及び後日の再放送、または、インターネット動画配信サイトYouTube（ユーチューブ）でもご覧いただけます。



## 委員会意見書を執行部へ申し入れ

総務文教厚生常任委員会・建設経済産業常任委員会では、令和3年度歳入歳出決算について、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

なお、審査過程に於いて下記の事項を委員会の意見として執行部に申し入れる事が適当であると決定しました。

### ●総務文教厚生常任委員会

1. 天城、平土野共同墓地については使用者の調査をし、適正な管理をすべきである。
2. 育英奨学資金については将来を担う子ども達のため、返還金の徴収や基金の増額を考慮し、恒久的に運用ができるよう務めるべきである。
3. 実効性のある適正な予算措置を行い、執行についてはできるだけ年度内で完了するよう努力するべきである。



### ●建設経済産業常任委員会

1. 事業課においては、技術専門職の早期育成を努めるとともに、事業の予算、目的、内容、工期等を精査し、効果的な事業推進を図ること。
2. 予算執行において多額の流用と不用額が散見される。今後補正予算を原則とすること。
3. 分担金及び使用料においては、住宅退去、給水停止を条例にそって実施すべきである。住宅入居時の保証人にも対処を求めるなど改善策を尽くし、悪質滞納者には法的処置を実施すべきである。
4. 水道事業において、漏水やメーター器の未整備による無効水量が多く渇水期の安定給水が阻まれている。また、これは水道使用料の減収の一因であることから改善が求められる。
5. 建設事業において、多額の返納金、加算金が発生しているが、今後は法令を遵守し事業を厳正に執行すること。



## 令和4年9月定例会

番 号	議 案 名	結 果
報 告 4	令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
議案第37号	天城町育英奨学基金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第38号	令和4年度天城町一般会計予算補正（第3号）について	原案可決
議案第39号	令和4年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正（第1号）について	原案可決
議案第40号	令和4年度天城町介護保険事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決
議案第41号	令和4年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決
議案第42号	令和4年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算補正（第1号）について	原案可決
議案第49号	天城町高規格救急車購入契約について	原案可決
議案第43号	令和3年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第44号	令和3年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第45号	令和3年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第46号	令和3年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第47号	令和3年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第48号	令和3年度天城町水道事業会計決算の認定について	認 定
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決

## 令和4年7月22日に開催された 児童会・生徒会代表ミニ議会

天城町議会本会議場において町内各小中学校の代表児童・生徒が参加し、自由に使える「学校バスの運行」、娯楽施設（映画館）の設置、安全な通学路の整備、夢の持てる島徳之島、世界自然遺産登録による観光対策、アマミノクロウサギの保護、ゴミ問題など多方面から質問や提言を行いました。



### ◆ 編集後記 ◆

町民のみなさまこんにちは。毎日のお仕事お疲れさまです。

世界情勢を見ますとコロナウイルスやウクライナ戦争によりトウモロコシや小麦等の価格高騰、原油高など私たちの国内情勢においても更に厳しい状況となつていくと予想されます。

天城町に目を向けてみますと、徳之島町、伊仙町に先駆け保育料無料化となつており、他町の保護者より「天城町は子育てしやすい町」と評価されています。

私が歩んだ昭和時代は学年4クラス130名程在籍し、今思うに当時の家庭は子宝貧乏が多数を占め、あの時代に子どもへ教育を受けさせた保護者は素晴らしいと思うところです。

天城町に住む小、中、高校生へ「蔵の財よりも身の財優れたり。身の財よりも心の財第一なり（正直者）。」

朝夕めつきり涼しく感じられる季節となりましたが、町民のみなさまにおかれましては体調管理に留意され、農家・畜産農家のみなさまの収穫量向上、牛のセリ価格高騰を願ひ編集後記とさせていただきます。

議会だより編集委員

喜入 伊佐男